

社会貢献活動

当社は、「良き企業市民として社会に貢献する」ことを行動指針の一つに掲げており、次のような社会貢献活動・文化支援活動を続けています。

社会貢献活動を進めるにあたっては、社内に横断的組織である社会貢献推進委員会を設けて活動のあり方・取り進め方について審議しています。

社会貢献

住商奨学金

1996年は、商事活動スタートから50周年にあたりました。その記念事業の一つとして、アジア発展途上国17カ国35大学(院)の学生への援助を、当社の海外事務所の協力を得て開始しました。

これは、各国の次世代のリーダー育成と、日本とのより良い交流の実現を目的としています。現在、年間約900名の学生に奨学金を支給しています。

住友グローバル奨学金

1991年より、米国ニューヨーク大学ロー・スクールへのアジア・東欧諸国出身の留学生の援助(毎年2名)のため、同ロー・スクールに対する寄付を続けています。

児童養護施設の子供たち向け社会交流プログラム

パソコンを通じた交流と、スポーツを介しての交流という2つのプログラムを行っています。

1. キッズ・パソコン・クラブ

関東の5ヶ所の児童養護施設にパソコン・通信機器を寄贈するとともに、子供たちに半年間、当社及び共催企業の職員が、ボランティアでパソコン操作を指導しています。



奨学金授与式後の記念撮影(ハノイ)

2. Jリーグ選手協会サッカースクールへの協賛

関東・関西の児童養護施設の子供たちに、現役Jリーガーがサッカー指導を行い、スポーツの楽しさを伝えています。同時に、Jリーガー、共催会社の職員との交流を通じて、子供たちに社会性や協調性を体得してもらうプログラムとなっています。(主催: Jリーグ/Jリーグ選手協会/当該地域の社会福祉協議会)

物品寄贈・休眠物資の活用

災害地、母子寮、養護施設等に向けて、当社の取扱商品や役職員等から提供された各種物品を寄贈しています。

また、チャリティーバザーに出品し、その収益を社会福祉法人やNPOを通じて社会福祉、災害支援金として寄付しています。

ボランティア休暇制度

役職員のボランティア活動を促進するために1998年からボランティア休暇制度を導入しており、毎年数十名の職員が、この制度を利用してボランティア活動を行っています。

文化支援

ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ

「未来の芽を育てる」という考えに基づき、1992年にジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ(JPO)の活動の支援を開始、今年で11年目を迎えます。

JPOは、10才から22才までの青少年約120名によって構成されているアマチュアオーケストラで、長年クラシック音楽の普及に尽力してこられた指揮者山本直純氏(故人)の指導を受け、実力を培ってきました。

国内だけでなく、米国・欧州・中国など海外でも数多くのステージを経験してきた実力派として国際的にも高い評価を得ており、また、卒団生からは多くのプロの音楽家が生まれています。



第28回 住友商事ヤング・シンフォニー(2002年5月 晴海トロン第一生命ホールにて)